

【公報種別】特許法第17条の2の規定による補正の掲載

【部門区分】第3部門第3区分

【発行日】平成19年9月27日(2007.9.27)

【公開番号】特開2002-128928(P2002-128928A)

【公開日】平成14年5月9日(2002.5.9)

【出願番号】特願2000-322379(P2000-322379)

【国際特許分類】

C 08 J	9/00	(2006.01)
B 29 C	55/02	(2006.01)
C 08 K	3/00	(2006.01)
C 08 K	5/09	(2006.01)
C 08 L	23/08	(2006.01)
H 01 M	2/16	(2006.01)
C 08 L	23/06	(2006.01)
B 29 K	23/00	(2006.01)
B 29 K	105/04	(2006.01)
B 29 K	105/16	(2006.01)
B 29 L	7/00	(2006.01)

【F I】

C 08 J	9/00	C E S A
B 29 C	55/02	
C 08 K	3/00	
C 08 K	5/09	
C 08 L	23/08	
H 01 M	2/16	P
C 08 L	23/08	
C 08 L	23:06	
B 29 K	23:00	
B 29 K	105:04	
B 29 K	105:16	
B 29 L	7:00	

【手続補正書】

【提出日】平成19年8月15日(2007.8.15)

【手続補正1】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】請求項4

【補正方法】変更

【補正の内容】

【請求項4】 メルトイインデックスが0.5~10g/10分で密度が0.890~0.945g/cm³であるエチレン・-オレフィン共重合体70~98重量%と、メルトイインデックスが0.1~10g/10分で密度が0.910~0.927g/cm³である分岐型低密度ポリエチレン2~30重量%含むポリエチレン系樹脂(A)25~50重量%、並びに無機充填剤(B)50~75重量%含み、且つ(A)および(B)100重量部に対して、リシノール酸縮合物及びリシノール酸縮合物の水素添加物から選ばれた少なくとも1種の添加剤0.5~8重量部を含む樹脂組成物をフィルム状に成形し、得られたフィルムを室温~樹脂の軟化温度の範囲において少なくとも1軸方向に1.1~5倍延伸することを特徴とする多孔性フィルムの製造方法。